

平成27年 第4回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成27年4月15日(水)
午後3時57分～午後5時32分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 委員会室
3. 出席した委員
教育委員長 三宅 義雅
委員長職務代理 西 育代
委員 田中 保和
委員 山崎 裕行
教育長 吉原 孝
4. 出席した職員
教育部長 尾野 晋一
教育監 蛇草 真也
理事兼公民館長 酒谷 敬三郎
次長兼教育総務課長 中野 佳彦
次長兼社会教育課長 井須 浩嘉
次長兼文化財課長 藤田 裕邦
スポーツ推進課長 一松 孝博
学務課長 松田 成史
指導課長 野間 浩一
こども未来部長 己波 敬子
次長兼子ども育成課長 小林 由幸
事務局教育総務課 寺川 款
5. 議事案件
議案第15号 平成26年度大阪府学びチャレンジテストの結果の公表内容について
(継続審議)
議案第16号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認について
議案第17号 柏原市文化財保護審議会委員の委嘱について
議案第18号 柏原市小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱について
議案第19号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について
議案第20号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会に対する諮問について
6. 報告事項 他
7. 会議録の承認及び会議の要旨

三宅委員長： 只今より、平成27年第4回定例教育委員会会議を開催いたします。本日の会議録署名については、山崎 裕行 委員、よろしく願いいたします。まず始めに、前回の平成27年第3回定例教育委員会会議録の承認をお願いしたいと思います。会議録につきまして、何かご意見やお気付きの点がございましたらお願いいたします。

委員全員： (意見等なし)

三宅委員長： ご意見等がないようですので、平成27年第3回の定例教育委員会会議の会議録を承認することといたします。それでは、本日の議事案件に入ります。継続審議となっておりました議案第15号 平成26年度 大阪府学びチャレンジテストの結果の公表内容については、議事進行上、議案第20号の後に審議したいと思います。委員の皆様、よろしいでしょうか。

委員全員： (了承)

三宅委員長： それでは、議案第16号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認について、担当課の方をお願いします。

中野次長： 教育総務課からご説明申し上げます。議案書の2ページをお開き願います。議案第16号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認についてでございます。平成27年4月1日付での教育委員会事務局職員の任命をいたしました、課長級以上の異動の承認につきましては、議案書のとおりでございます。

【人事異動者・資料により説明】

事後の承認となりますが、よろしく願いいたします。なお、その他の職員につきましては、3ページの参考資料のとおりでございます。以上でございます。

三宅委員長： 委員の皆様、ご意見等ございますか。議案第16号 柏原市教育委員会事務局職員人事を承認してよろしいですか。

委員全員： (意見・異議等なし)

三宅委員長： それでは議案第16号 柏原市教育委員会事務局職員人事の承認につきましては、原案どおり承認いたします。続きまして、議案第17号 柏原市文化財保護審議会委員の委嘱について、担当課の方をお願いします。

藤田次長： それでは文化財課より、議案第17号 柏原市文化財保護審議会委員の委嘱について、ご説明申し上げます。柏原市文化財保護条例施行規則第24条の規定により、柏原市文化財保護審議会委員として7名の方々を委嘱するというものであります。委嘱年月日は平成27年4月1日、委嘱期間は平成27年4月1日から平成29年3月31日まででございます。委員の名前・所属等につきましては、資料4ページの表のとおりで、全ての委員につきまして、再任となります。以上、ご審議の程、よろしく願いいたします。

三宅委員長： ただいま、文化財課より説明がありましたが、委員全員の方が再任ということですね。

藤田次長： そうです。

三宅委員長： 何かご意見等ございますか。文化財保護審議会委員を委嘱することについて、決定してよろしいですか。

委員全員： (意見・異議等なし)

三宅委員長： ご意見、ご異議等がないので、議案第17号 柏原市文化財保護審議会委員の委嘱について、原案のとおり委嘱することに決定いたします。続きまして、議案第18号 柏原市小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱について、担当課の方から説明をお願いします。

松田課長： 議案第18号 柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱について、学務課よりご説明いたします。平成27年第1回定例教育委員会会議の議案第2号で「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会規則」を制定していただきました。同規則第3条により、議案書にございます役職の方々を審議会の委員として考えております。現在、年度代わりであるため、各団体での役員等の変更が行われており、名前を掲載することができなくなりましたので、この度の会議では、委員をお願いする役職をお示しさせていただき、改めて次回の第5回定例教育委員会会議で、委員の予定者をお諮りしたいと考えておりますので、継続審議としていただきますようよろしくお願いいたします。

三宅委員長： 議案第18号 柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会委員の委嘱について、ただいま説明がありましたけれども、平成27年第1回定例教育委員会会議で「柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会規則」を制定させていただきましたけれどもその規則に基づいて、委員を委嘱するということです。何かご質問、ご意見はございますか。

田中委員： 充て職は4月、5月で代わるのですね。

吉原教育長： そうです。各団体で現在選出をしておられるようです。

田中委員： 13、14の公募委員はもう公募を始めていますか。これからですか。

松田課長： これからです。

吉原教育長： これから公募を始めて、5月の連休明けぐらいには選出したいと考えております。1番目の学識経験者については大阪教育大学の地域連携部門の特任教授であり、箕面市の彩都の丘学園や柏原市の堅下南小・中学校の学校評議員といった小中連携にも非常に造詣が深い、島先生をお願いしたいと考えております。

三宅委員長： できる限り、学校の適正規模や配置、また地元のことをよくわかっておられる方についていただくのはよいかと思えます。

田中委員： 次回の定例教育委員会会議は5月12日の予定になりますが、そうすると公募委員の選出は間に合いますか。

尾野部長： 現状では少しきつい日程かと思うところはございます。ただ、できるだけそれに向けた形で選定を進めたいと考えております。もし選出できなかった場合につきましては、臨時の教育委員会会議をお願いすることも念頭におきながら進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

田中委員： わかりました。

三宅委員長： 他に何かご意見、ご質問はございますか。個人名を挙げるできないということで、継続審議としてよろしいですか。

委員全員： (了承)

三宅委員長： それでは、議案第18号 柏原市立小・中学校適正規模・適正配置審議会委員

の委嘱については、継続して審議することとします。続きまして、議案第19号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について、担当課の方からお願いします。

野間課長： 議案第19号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について指導課よりご説明申し上げます。柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会規則第2条により次のとおり委嘱したいと考えております。委嘱年月日は平成27年5月15日、委員の任期につきましては、平成27年5月15日から平成28年3月31日まででございます。委員につきましては、資料6ページの方々を予定しております。

【資料により説明】

ご審議、よろしくお願ひいたします。

三宅委員長： 本年度は中学校の教科用図書の選定ということで、選定委員として7名の方を挙げていただいておりますが、何かご意見、ご質問はございますか。

山崎委員： 質問ですが、教員代表の方は中学校教員の代表ということですが、これは何かの充て職ですか。例えば、柏原市教育研究会の代表となっているとか、そういう方ではないのですか。

野間課長： そういうわけではございません。首席の中から選んでおります。

山崎委員： それでは、保護者代表の方はどうですか。

野間課長： P T A協議会の方です。

山崎委員： P T A協議会の会長ですか。

吉原教育長： P T A協議会の方から推薦をいただいた方です。

山崎委員： わかりました。

三宅委員長： 他に何かご意見、ご質問はございますか。議案第19号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について決定してよろしいですか。

委員全員： (意見・異議等なし)

三宅委員長： それでは、議案第19号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱については、原案のとおり決定いたします。続きまして、議案第20号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会に対する諮問について、担当課の方から説明をお願いします。

野間課長： 議案第20号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会に対する諮問について、指導課よりご説明申し上げます。資料の8ページをお開き下さい。1 諮問事項、平成28年度使用の柏原市中学校教科用図書の適正な採択を行うための選定について、2に理由としまして、平成27年4月7日付け文部科学省初等中等教育局長の通知を受け、平成28年度使用教科書の採択について、教育委員会その他の採択権者の判断と責任により、適切に行なわれる必要があります。したがって、綿密な調査研究に基づき、適正かつ公正な教科書採択が行われるよう意見を伺うものでございます。この4月7日付けの文部科学省からの通知を受けまして、このあと5月15日に大阪府の教科用図書の採択の説明会が開催されます。それ以後、5月18日以降に選定委員会を開催して、選定作業を行なっていく予定でございます。よろしくご審議の程、お願ひいたします。

三宅委員長： 平成28年度使用の中学校教科用図書の選定に係る諮問ということで、5月18日以降に委員会を開いていただくということです。この前、文部科学省から発表があ

りましたけれども、特に歴史、地理に関して何点かの教科用図書の見直しがされたと新聞等で報道されております。そうした中で適正な採択をしなければならないということになりますが、教育委員会会議の方には7月に議案として上程されることと思います。日程的にはかなり厳しいものがありますので、6月の下旬までには答申をしていただくような形で進めてもらった方がよいと思います。

吉原教育長：　そうですね、昨年度も全教科を読み通しましたが、中学校の教科用図書は文字数も多く、歴史・地理もあるので、できるだけ早く答申をいただき、選定していただいたものについて、読み通しさせていただく方がよいと考えます。

三宅委員長：　できるだけ、早く答申いただく方がよいのですが、あまり急いで後で問題になることが出てきてもいけませんので、6月の終わりを目途に選定していただいて、あと7月中旬以降の教育委員会会議の方で決定させていただくということで、お願いしたいと思います。

田中委員　：　採択のタイムリミットは我々の教育委員会会議を含めていつになりますか。

吉原教育長：　リミットについては、大阪府の説明会でよく聞いていただいて、我々教育委員が読み通す時間も確保いただく日程を組んでいただきたいと思います。

三宅委員長　：　他にご意見、ご質問はございますか。議案第20号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会への諮問について決定してよろしいですか。

委員全員　：　（意見・異議等なし）

三宅委員長：　それでは、議案第20号 柏原市立小・中学校教科用図書選定委員会に対する諮問については、原案のとおり諮問することに決定いたします。続きまして、継続審議となっておりました議案第15号 平成26年度大阪府チャレンジテストの結果の公表内容について、追加説明があれば担当課の方からお願いします。

野間課長　：　議案第15号 平成26年度大阪府チャレンジテストの結果の公表内容について、指導課よりご説明申し上げます。別冊をご覧ください。継続審議の内容として、1点目としまして乖離率について、また2点目としまして理科と社会についてでございます。乖離率については、プラスの乖離率についても挙げ、また成果の分析も記載させていただきました。理科と社会の扱いについては、1ページものは公表しませんが、乖離率については掲載する方向ということでしたので、乖離率を記載させていただきました。ご意見といたしまして、「現場の先生たちが生き生きと活動できるように」「現場が本気にならないと成果は出ない」「小学校にも情報提供して、中学校区で共有し、一緒に課題解決に向かってほしい」といったことも頂戴いたしておりました。よろしく、ご審議いただきますようお願いいたします。

三宅委員長　：　継続審議ということで、特に理科・社会に関しては受験校が限られているので、全く公表しませんというのが、前回の内容でした。またマイナスの面だけが表示されていた、いわゆる課題の方が主体になっていたわけですが、やはり成果の方も掲載してはどうか等のご意見があり、継続審議になっておりました。今回、それらのご意見を反映させた内容で、改めて、別冊の公表内容を作成させていただきました。委員の皆様、ご意見やご質問はございますか。

田中委員 : これはHPに載せるのですね。17ページまでの分を全部載せるということですね。

野間課長 : はい、そうです。

山崎委員 : 1ページはとてもわかりやすくなりました。ナンバーの打ち方について、15ページで大きな5番で今後の取組みで、その下にまた大きな番号で1, 2とあり、17ページには大きな番号で3とあります。これは(1)(2)といったことになるのですか。

田中委員 : これは変えた方がいいですね。

山崎委員 : これも前回の会議でおかしいと思っていたところですが、乖離率の出し方で、大阪府平均と柏原市平均が反対になっています。この前の資料とは逆になっています。次は内容の方ですが、ぜひ指導課の課長、教育監には、学力と体力、運動能力については、今年は力を入れてやっていただきたいと思います。例えば、アンケート調査の結果で見ると、やはり問題になるのは「家で自分で計画を立てて、勉強している」や「学校の宿題をしている」という辺りのところについて手を入れていかないと駄目だということ、それから、もっとはっきりしているのは、「国語の授業はよくわかる」「数学の授業はよくわかる」、要するに「各教科の内容はよくわかる」という設問がありますが、それに対して大阪府平均と比べて、柏原市平均の方がいい結果という話になってくれたら嬉しいけれども、いつも逆になっています。それは「授業の内容がよくわからない」と言っているのです。「よくわからない」と、大阪府平均と比べて子どもたちが感じているのです。先生たちにとっても、つまり学校にとっても、教育委員会にとっても、こんな大きな問題はないと思います。ぜひとも、今年一年、指導課長の力で学校を変えてほしい、子どもたちに力をつけてやってほしいという思いです。頑張ってもらいたいと思います。どこかでやらなければならないとしたら、私がやってやるという思いでして下さい。17ページの指導方法の工夫改善についてというところで、A-1が「わかりやすい授業の実践」そのとおりです。どの先生たちもプロなのだから、ぜひともやってもらいたい。A-2の「生徒の個別の課題に応じて繰り返し学習」、繰り返し学習はすればいいのです。何回でもしたらいいのですよ。プリントがなかったら、教育委員会がプリント作って、どんどん学校へ配布して、單元ごとに小学校も中学校も單元ごとにプリントを作って、これを使いなさいというぐらいに配布してもいいのです。是非とも繰り返し学習をやって下さい。それから、ここには教育委員会の課題が出ていない、学校の課題は出ているけれども、教育委員会の課題はいつも出てこない。これは指導課の仕事だと思って指導主事を使い、このチャレンジテストでこの様な結果が出たのだから、ぜひとも現状を変えていこうということで、力を入れてやってもらいたい。今年1年かけてですね、学校はこれだけ変わりました、教育委員会も指導課もこれだけ変わりましたというのをお願いしたいと思います。

野間課長 : ありがとうございます。

三宅委員長 : 見ていると、実際にはかなり厳しい結果になっていると思います。評価につながる部分もあると思います。今、山崎委員が言われましたように、できるだけ、早急に学力向上を目指して、進めていってもらいたいと思います。他に何かご意見、ご質問はございますか。

西 委員 : この公表結果は子どもたち、先生たちというのはHPを見ないとわからないわけですね。全体の結果はわからないわけですね。

野間課長 : 全体の結果についてはそのとおりです。

西 委員 : 自分の点数はわかるわけですね。大阪府で今どのような状況にあるのか、先生たちはご指導いただくので、もちろん、それはわかっていることだと思いますけれども、やはり子どもたちも頑張らないと、という意識を共有し合うとか、先生たちだけが頑張っていて、子どもたちは知らぬ顔ではなく、子どもたちも頑張らないと、これでは駄目だというものを持ってもらえるような、先生の話し合いや子どもたちに対して先生がクラスで自信を持って、お互いにこういうところを頑張ろうねというような体制で臨んでもらえたらと思います。ちょっとした意識だと思うのです。子どもたちの頑張るという意識も、漠然としたものではなくて、目標を決めて、自分の弱いところを頑張ろうということで、ご指導いただけたらいいのではないかと思います。子どもたちというのはそういう意識というものは見えてこないの、自分がどういう位置にいるとかではなくて、みんなで頑張っていこうという先生方の気持ちと子どもたちの気持ちが一体となって頑張れるようにしていただきたい。よろしくお願いします。

野間課長 : また、5月の校園長会で、校長などに伝えていきたいと思います。

三宅委員長 : 子どもたち自身にも実際にこれから先、特に公立等の評定等にかかってくる、つながっていくと思います。そういう意味では、子どもたちに関心を持ってもらわないと困るし、先生方と一緒にいいところ、褒めて育てるということは大事だと思います。確かに課題、たくさんありますけれども、やる気を起こさせるという形で指導していったほしいと思います。他に何かご意見やご質問はございますか。

野間課長 : 公表の件ですが、八尾市の情報ですが、4月10日の大阪府教育委員会の方から全国学力・学習状況調査の活用に関するを受けて、少し控えさせていただいているという状況がございます。

三宅委員長 : 公表を控えているということですか。

野間課長 : そうです。チャレンジテストの方の結果の公表です。

田中委員 : 控えているということは、やめるということではなくて全国学力・学習状況調査が終わってから公表するということですか。

野間課長 : 具体的な日にちまでは情報を得ていません。

吉原教育長 : 全国学力・学習状況調査は来週21日ですね。それが終わってから公表しようという感じですか。

田中委員 : 公表しないかもしれない。

野間課長 : はい、公表しないかもしれません。

吉原教育長 : このチャレンジテストは試行ということでもあります。

蛇草教育監 : 委員にも見ていただいておりますので、控えるとか、別に隠す必要もないかと思いますが。

吉原教育長 : 分析もしてくれているから、そこはいいと思いますよ。

三宅委員長 : ただ時期の問題ですね。

田中委員：学校の校長先生は既にご存知なのですね、この内容は、既に公表する前から知っているのですね。今度の全国学力・学習状況調査の後より前に、教員にも本当は知ってもらいたいですね。

三宅委員長：逆に子どもたちや保護者が見るっていうデータではなくて、学校には個々のデータはそれぞれ学校に対して公表されていると思いますけれども、全体のデータは行っていないわけですね。

田中委員：自校についてはわかる。

吉原教育長：これを見てね、自分のところなりに分析をしないとイケません。そこが大事です。

三宅委員長：学校に対してデータを提供して、そういう議論をしていただく、1つの方法だとは思いますが。ただ、あまり学校間の競争ということになっては、本当はいけないことですが、全体のレベルを上げるという意味では、やはりそういうことも必要かとは思いますが。

田中委員：HPは、保護者が見るということですね。前回のテストの成績から今度の試験は頑張り、全国学力・学習状況調査の前に出した方が子どもたちに言えるかどうかです。

吉原教育長：学校に対して、もう少し頑張ってもらいたいという要望をあげられると、先程、山崎先生が言われたように、学習したことが将来役に立つとか、先生の言うことはわかるとは言っています。その学力があがる前段階の準備は十分できているので、あとはコツコツとしていかなければいけない。先生方もこれは社会へ出た時に大事だから、頑張りなさいという、子どもはわかっています。ただ、もう一息という気はするのです。それは学校、個人によっても考え方は違うでしょうから、データというのはそういうところで効果を出します。それをしっかり分析して、この生徒には何を伝えていくのかというのをあげてほしいと思います。

蛇草教育監：学校の方でも全国学力・学習状況調査もそうですし、またこのテストにしてもそうだと思いますけれども、まだまだ形の状況というのがありましたので、教育委員会の方で学力向上対策委員会を開いて、先生方に集まっています。その中で、先程、言われたように、分析そのものを先生たちがしっかりして反映させていこうというのは、徐々に今出てきているところだと思います。今までは本当に管理職がやって、数字だけをあげるという形が見られたところはありましたが、そういう面では浸透してきているところはあります。

三宅委員長：むしろ、現場で実際にしていただけている先生方に意識してもらおうということが大事だと思いますし、同時くらいに公表する、同時くらいに学校の方へもこれを送っていただいて、管理職の先生方ではなくて、教員の先生方にも、実際に見ていただきながら、分析して新たな取組みしてもらおうということもあるかと思いますが。もしそれが可能であれば、公表する時期の問題もあると思いますけれども、そういったように考えていただけたらいいと思います。

三宅委員長：他に何かご意見やご質問はございますか。ご意見等がなければ、平成26年

度 大阪府学びチャレンジテストの結果の公表内容について、決定してよろしいですか。

委員全員 : (意見・異議等なし)

三宅委員長: それでは、議案第15号 平成26年度大阪府学びチャレンジテストの結果の公表内容については、原案の内容のとおり公表することに決定いたします。本日の議事案件は以上でございます。続いて、報告事項、その他についてお願いします。

野間課長 : 【学校評価報告書について報告】

【府立高等学校入学者選抜における絶対評価についての報告】

【柏原市学校特認指導主事 派遣要項についての報告】

一松課長 : 【2015チャレンジデーについての報告】

【片山庭球場の時間延長の試行についての報告】

井須次長 : 【自然体験学習施設完成記念式典についての報告】

三宅委員長: 他に報告事項がなければ、これで閉会といたします。次回の平成27年第5回定例教育委員会会議につきましては、平成27年5月12日、午後1時00分からの予定とします。会議終了にあたりまして、西 職務代理よりご挨拶をお願いします。

西 委員 : 以上をもちまして、平成27年第4回定例教育委員会会議を終了します。本日はありがとうございました。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

平成27年4月15日